



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 日本シイエムケイ株式会社  
 コード番号 6958 URL <https://www.cmk-corp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 山口 喜久  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5323-0231

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	50,304	20.6	2,017		1,761		2,162	
2020年3月期第3四半期	63,383	6.4	1,375	52.9	1,443	51.8	610	59.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,110百万円 ( %) 2020年3月期第3四半期 389百万円 ( 59.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	36.52	
2020年3月期第3四半期	10.32	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	96,811	50,321	48.5
2020年3月期	96,044	54,932	53.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 46,914百万円 2020年3月期 51,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		6.00	6.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の期末配当予想につきましては、未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,500	17.1	1,500		1,400		2,100		35.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	63,060,164 株	2020年3月期	63,060,164 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	3,864,456 株	2020年3月期	3,864,028 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	59,195,928 株	2020年3月期3Q	59,196,583 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、経済活動が制限される中、徐々に景気の持ち直しの動きが見られていましたが、感染の再拡大に伴い不透明な状況が続いております。世界経済においても、各国政府による緊急対策として、外出禁止令や移動制限などによる経済活動の抑制などが行われ、その後緩やかながら回復基調で推移しましたが、世界各国で感染が再拡大し、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループ主力の車載分野においても、自動車販売が中国においては回復基調に転じましたが、世界全体では未だ低調に推移しております。

当社グループは、車載向けの販売が減少し、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は503億4百万円(前年同四半期比20.6%の減収)となりました。

利益面につきましては、引き続き固定費削減等を推進したものの、売上高の減少の影響などにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失は20億17百万円(前年同四半期は13億75百万円の営業利益)となりました。また、営業利益の減少に伴い、経常損失は17億61百万円(前年同四半期は14億43百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は21億62百万円(前年同四半期は6億10百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

## (日本)

国内の自動車販売台数が減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少したことにより、売上高は314億27百万円(前年同四半期比13.6%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント損失は14億2百万円(前年同四半期は2億30百万円のセグメント利益)となりました。

## (中国)

中国の自動車販売台数は回復基調にあるものの、累計期間では減少した影響を受けて、車載向けの販売が減少したことにより、売上高は88億11百万円(前年同四半期比23.0%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は4億28百万円(前年同四半期比70.0%の減益)となりました。

## (東南アジア)

タイの自動車販売台数が減少したことなどにより、当社においては車載向けの販売が減少し、売上高は71億43百万円(前年同四半期比35.2%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント損失は8億7百万円(前年同四半期は72百万円のセグメント損失)となりました。

## (欧米)

欧州、米国共に、自動車販売台数が減少したことにより、当社においては車載向けでの販売が減少し、売上高は29億21百万円(前年同四半期比35.8%の減収)となりました。

利益面では、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は1億48百万円(前年同四半期比38.2%の減益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.0%増加し、525億76百万円となりました。これは、主に現金及び預金が増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、441億95百万円となりました。これは、主に有形固定資産が減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、968億11百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、217億93百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が増加し、その他に含まれる未払金が減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて23.4%増加し、246億96百万円となりました。これは、主に長期借入金が増加し、社債が減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13.1%増加し、464億90百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.4%減少し、503億21百万円となりました。これは、主に利益剰余金が減少し、為替換算調整勘定が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月5日に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,694	20,594
受取手形及び売掛金	20,389	20,009
商品及び製品	4,529	4,480
仕掛品	3,592	3,643
原材料及び貯蔵品	2,434	2,242
その他	1,080	1,733
貸倒引当金	△56	△127
流動資産合計	48,665	52,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,279	11,255
機械装置及び運搬具（純額）	16,683	15,897
土地	8,253	8,236
建設仮勘定	2,618	1,937
その他（純額）	1,217	1,146
有形固定資産合計	41,052	38,472
無形固定資産		
のれん	116	90
その他	220	226
無形固定資産合計	337	317
投資その他の資産		
投資有価証券	2,318	2,503
退職給付に係る資産	1,119	724
その他	2,550	2,206
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	5,959	5,405
固定資産合計	47,349	44,195
繰延資産		
社債発行費	29	40
繰延資産合計	29	40
資産合計	96,044	96,811

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,761	11,991
短期借入金	4,455	5,446
1年内償還予定の社債	1,352	352
未払法人税等	246	271
賞与引当金	510	362
事業構造再編費用引当金	126	126
その他	4,639	3,243
流動負債合計	21,091	21,793
固定負債		
社債	5,023	5,722
長期借入金	13,206	17,392
退職給付に係る負債	93	94
資産除去債務	449	451
その他	1,247	1,035
固定負債合計	20,020	24,696
負債合計	41,111	46,490
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,306	22,306
資本剰余金	16,628	16,628
利益剰余金	12,671	10,154
自己株式	△3,135	△3,135
株主資本合計	48,471	45,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	446	630
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	2,262	354
退職給付に係る調整累計額	270	△25
その他の包括利益累計額合計	2,979	960
非支配株主持分	3,480	3,407
純資産合計	54,932	50,321
負債純資産合計	96,044	96,811

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	63,383	50,304
売上原価	54,957	45,886
売上総利益	8,425	4,418
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,535	2,536
賞与引当金繰入額	△40	△0
退職給付費用	14	24
その他	4,540	3,874
販売費及び一般管理費合計	7,050	6,435
営業利益又は営業損失(△)	1,375	△2,017
営業外収益		
受取利息	21	11
受取配当金	88	81
為替差益	296	183
その他	214	364
営業外収益合計	620	640
営業外費用		
支払利息	200	180
操業停止関連費用	142	—
その他	209	204
営業外費用合計	552	384
経常利益又は経常損失(△)	1,443	△1,761
特別利益		
固定資産売却益	0	5
投資有価証券売却益	17	189
特別利益合計	17	194
特別損失		
固定資産売却損	0	6
固定資産除却損	141	189
損害賠償金	41	18
その他	—	2
特別損失合計	183	218
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,277	△1,784
法人税等	377	213
過年度法人税等	50	59
四半期純利益又は四半期純損失(△)	849	△2,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	238	104
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	610	△2,162



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	849	△2,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	184
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△764	△1,940
退職給付に係る調整額	△37	△296
その他の包括利益合計	△459	△2,052
四半期包括利益	389	△4,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368	△4,181
非支配株主に係る四半期包括利益	21	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,367	11,438	11,023	4,554	63,383	—	63,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	869	10,310	7,589	3	18,773	△18,773	—
計	37,236	21,748	18,613	4,557	82,156	△18,773	63,383
セグメント利益 又は損失(△)	230	1,430	△72	240	1,829	△454	1,375

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△454百万円には、セグメント間取引消去446百万円、全社費用△901百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	欧米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	31,427	8,811	7,143	2,921	50,304	—	50,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	635	7,752	6,440	9	14,838	△14,838	—
計	32,062	16,563	13,584	2,931	65,142	△14,838	50,304
セグメント利益 又は損失(△)	△1,402	428	△807	148	△1,633	△384	△2,017

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△384百万円には、セグメント間取引消去510百万円、全社費用△895百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。